



鮭川村文化団体連合会 加盟団体紹介



文化とは即ち「遊ぶ」のこと、
遊びですから「おもしろい」ものなのです。

庭崎 孝賢

平成六年 鮭川村文化団体連合会十五周年記念誌より

加盟団体紹介冊子の発行にあたって



鮭川村文化団体連合会

会長 八鍬 順一

今年度より、鮭川村文化団体連合会の会長を務めさせていただいております、八鍬順一です。この度は、加盟団体の皆様の活動を紹介する冊子を発行する運びとなり、大変嬉しく思っております。

私たちの暮らしている鮭川村は、豊かな自然環境と地域の伝統文化が息づく素晴らしい地域で、文化団体の皆様は、地域の文化や芸術を守り育てるために日々努力を重ねておられます。各団体がそれぞれの特色を生かし、地域住民や訪れる方々に感動や喜びを提供していることに、心から感謝申し上げます。

この冊子では、加盟団体の活動内容や情報を掲載し、地域の皆様にその魅力を知っていただくことを目的とし、私たちの活動が地域の活性化につながり、さらには次世代へと受け継がれていくことを願っております。

また、文化活動は人々をつなぎ心を豊かにする力があり、私たちの取り組みが地域の絆を深め、共に支え合う社会の実現に寄与できることを信じています。今後も、連合会として各団体の活動を支援し、さらなる発展を目指してまいります。

最後に、この冊子が多くの方々に手に取られ、鮭川村の文化活動への皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

紹介冊子の発行を祝って



鮭川村文化団体連合会 前会長

顧問 黒坂 敏夫(敏生)

鮭川村文化団体連合会は村内の各種芸術文化活動をしている団体が一同に集結し、昭和54年(1979)に創立。当時の加盟団体は11団体(115名)により結成し、初代会長に庭崎孝賢氏、副会長に荒木勲氏と黒坂敏夫を選任し、事務局に小川邦昭氏が就きました。国や山形県内でも各市町村の芸術文化協会設立が進むなか、最上郡8市町村では最上町芸文協が(1975年)と一番早く、次に新庄市、鮭川村、金山町が(1979年)に設立、大蔵村(1987年)、真室川町(1988年)、舟形町(1989年)、戸沢村(1998年)が設立し、山形県芸術文化協会に加入する。又、最上郡芸文協が発足し各情報交換と協力等を目的とし、事務局を新庄市芸文協に置く。

鮭川村文化団体連合会の活動は、鮭川村総合芸術祭(現在第45回)では各団体の舞台発表、作品展示を開催する。又、これまで特別ゲスト出演として「秋田万芸と民謡ショー」、「相撲甚句、元・栃桜歌謡ショー」、「鮭川旅情」須賀ゆう子歌謡ショー」等も行われ、会の研修旅行は、東京駅(迎賓室・構内視察)、東京都美術館(新興美術院展観賞)、宝塚劇場観劇、会津(大内宿)や野口英世記念館、登米町探望と「薪能鑑賞」、宮城県美術館と仙台市博物館見学、たざわこ芸術村「わらび座劇場観劇」、藤沢周平の「文学を巡る旅」など25回を数え、今でも楽しい思い出です。

平成14年(2002)4月、これまで23年間に亘り文化団体を支えていただいた庭崎孝賢会長が会長を辞任される。(後に退会、平成17年(2005年)11月16日逝去)平成14年5月、総会において黒坂敏夫が二代目の会長に就き、副会長に吉村厚子氏、佐藤成一氏を選出する。

令和4年(2022)、令和5年(2023)の2年間「鮭川歌舞伎土舞台特別公演」が京塚愛宕神社境台特設会場にて開催され県内外の多くの愛好者の皆様に感銘を受けることができました。公演の実行委員長としてたくさんの皆様方の御協力をいただき微力ながら務めさせていただきました心より厚く御礼を申し上げます。

私こと、令和6年(2024)4月の総会において鮭川村文化団体連合会の会長を辞任させていただきました。設立以来、副会長(22年間)、会長として(21年間)、43年間の永きに亘り行政はじめ村民の皆様方又、会員の皆様に多大なご支援、ご協力をいただき紙面をお借りして謹んでお礼を申し上げる次第でございます。

これからは会の顧問として協力させていただきながら日本画の制作と、日本画教室での生徒への指導に傾注してまいります所存です。

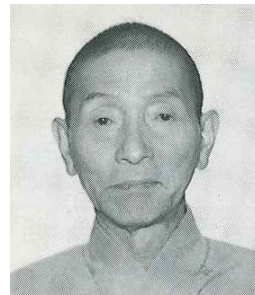
清流さけがわ太鼓の八鍬順一会長が文化団体の三代目の会長に就任しておりますので旧に倍しよろしくお願い致します。

“村民の皆様”ぜひ鮭川村文化団体にご入会いただき芸術と文化活動を楽しんで下さい。

鮭川村文化団体連合会

初代会長 庭崎孝賢

※平成6年 鮭川村文化団体連合会十五周年記念誌より



「文化生活とは、なんだろう」

爺一家から出るなナァ、
車がよう、留守番だぞー、
テレビの傍にゴロ寝してよう、
仕事なんぞ、すんなよう。

近頃までの高齢者は、おとなしく留守番で結構だ、といわれ身体を動かすことが少なかったのです。みんな悶々としながら心身ともに忽ちに、よぼよぼの老いぼれに陥ちていったのです。ところが10年この方、外に出て、太陽の光を浴びながらやるゲートボールにたよって、心身ともに潑刺（はつらつ）となったのです。

「勝った、負けた、」と、ガヤガヤ騒いでいることで、実に健康的な生活になったのです。そういうものを「文化」というのでしょうか。文化とは即ち「遊び」のことなのですから「おもしろい」ものなのです。

「文化とは、心のたしに」

腹の足しではない、一農業時代ではない。手足のたしでもない、一工業時代でもない。勿論、頭のたし、知識の時代でもない。21世紀は文化の時代—「心のたし」の時代。頭のたし、と心のたしは似ているようで、全く違うものなのです。この15年間文団連の歩みは蝸牛（かたつむり）であり、鈍行ではあったが、目指したものは、文化とは遊びのことであり「心のたし」即ち面白さ豊かさ潤いを、だったのです。

「主体的に、遊んだことども」

いい絵を鑑たし、絵描いたし、写真は生き生き、舞踊は嫋（しな）やか。俳句を嗜み、前句で笑い、短歌は生活写生を吐露し。野の花、木花は器にさわやかで、民謡朗々、堂々歌曲、謡曲詩吟と清流太鼓、小波（さざなみ）いとし鮭川の。歌舞伎に田植えに、合いの手ひゞき、爪弾く箏曲、心に潤い、心のたしに。

これぞ鮭川文団連。

— 弥栄（いやさか） — ・ 鮭川文化団体連合会 —

関係各位のご協力ありがとうございます。

SAKEGAWAKABUKIHOZONKAI

鮭川歌舞伎保存会

活動分野 伝統芸能

代表者 会長 佐藤 成一 **会員数** 27名

活動場所 京塚地区多目的集会所、鮭川村ふるさと文化伝承館等

活動日時 不定期（公演に合わせて練習）

鮭川歌舞伎は県の無形民俗文化財に指定されており、約250年の歴史があります。毎年6月第2日曜日に定期公演を開催し、500名の来場があります。その他県内はもちろん、県外公演も毎年行っております。近年では、神社境内に土で盛られた舞台「土舞台」での公演を復活させました。演目は「仮名手本忠臣蔵」「義経千本桜」「白浪五人男」等10種類以上に及びます。役者は小学生から大人まで幅広い世代で構成されており、公演がある度に集まって練習をしています。

新入会員も随時募集しておりますので、気軽に御連絡下さい。



集合写真（土舞台公演にて）



定期公演（毎年6月第二日曜日）



子どもから大人まで活動



公演に向けた稽古の様子

問合せ先

鮭川村文化団体連合会事務局（中央公民館）

Tel.0233-55-3051

活動情報はこちら▶



Facebook



SAKEGAWAKABUKI
Instagram

SAKEGAWABIJUTSU

鮭川美術

活動分野 美術活動（絵画、彫刻等）

代表者 会長 本木 京一 **会員数** 7名

活動場所 鮭川村を中心に、県内・県外で活動

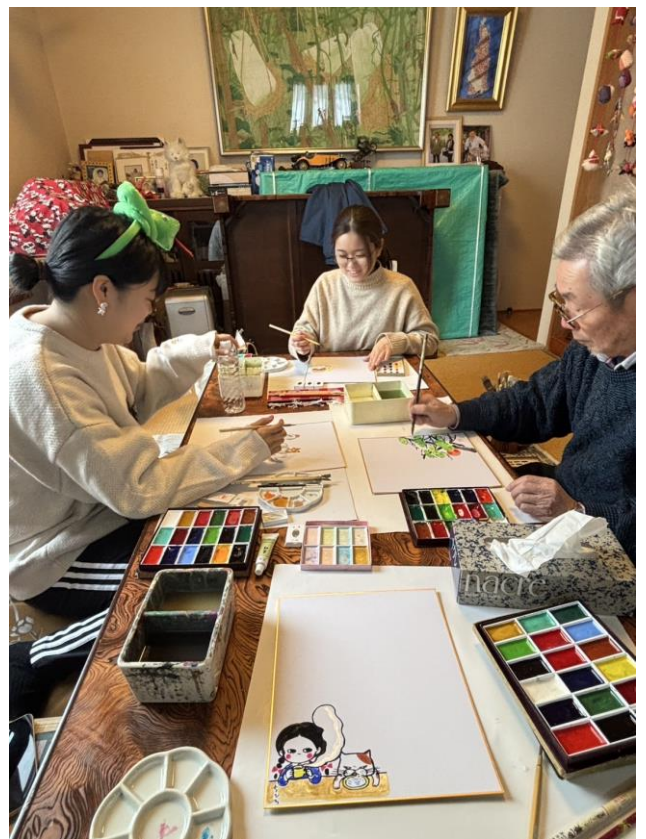
活動日時 不定期

鮭川美術は40年の歴史があります。創立から昨年まで黒坂敏生さんが会長を務め鮭川美術を牽引してきました。鮭川美術では毎年村総合芸術祭に作品を展示する他に、独自で展覧会を開催したり、スケッチ旅行をしたりフラメンコの会を企画するなど様々な活動をしてきました。最近では活動が衰退気味でしたが、昨年から今年にかけて新たに4名の新会員の入会があり、平均年齢が一気に下がりました。皆さん県内外での様々な場面で意欲的な活動を見せています。

美術表現に興味関心がある人、コツコツ作品を作っている人はお気軽にどうぞ鮭川美術に！



集合写真



日本画教室での制作風景



←十六羅漢スケッチ風景

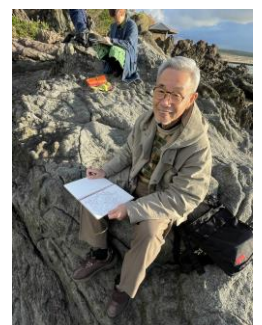
問合せ先

会長 本木 京一

Tel.0233-55-2721 (090-2607-5403)

黒坂敏生氏

(十六羅漢にて)



SYAYUKAI

写友会

活動分野 写真

代表者 会長：阿部 旬 副会長：五十嵐 一輝 **会員数** 2名

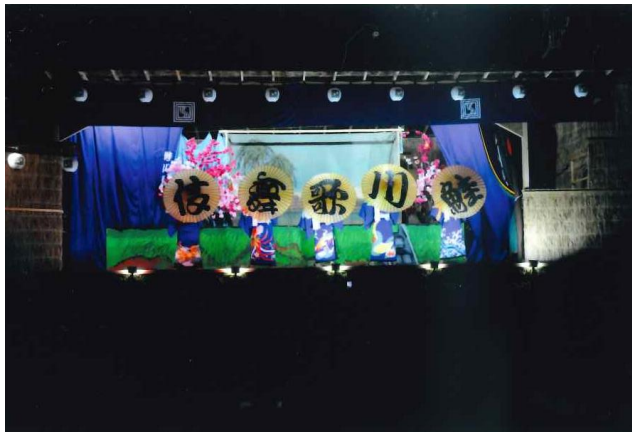
活動場所 鮭川村中央公民館等

活動日時 不定期

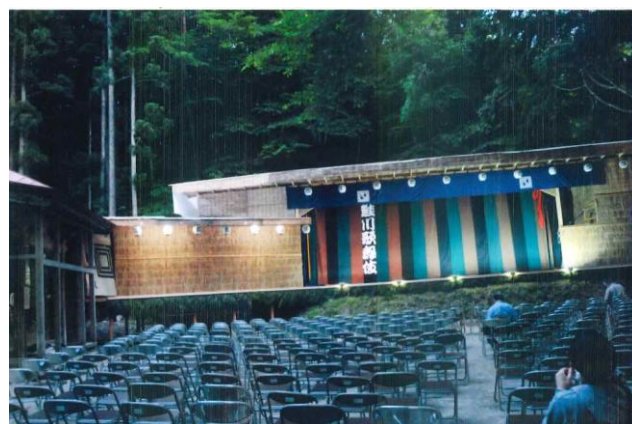
写真が趣味であり、風景などいろいろなものを撮影しています。また、自然豊かな鮭川村を舞台に、写真を通じて地域の魅力を発信しています。

鮭川歌舞伎等の地域のイベントも撮影し、村の文化振興にも貢献したいと思っています。

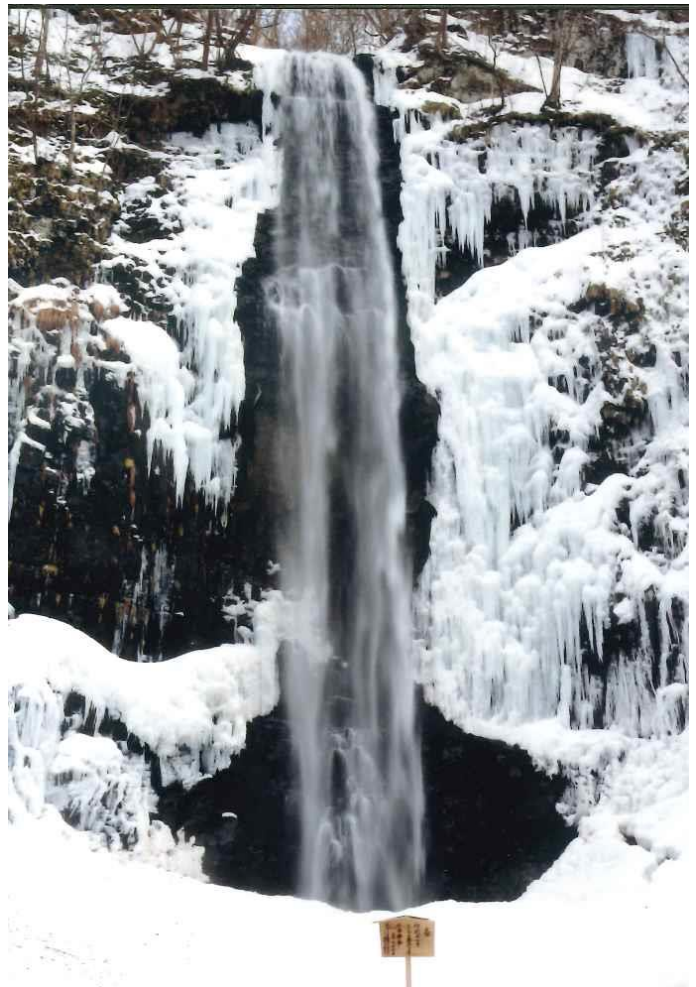
また、毎年鮭川村総合芸術祭で写真を展示をさせていただいております。写真を通じて、山形県や鮭川村の素晴らしさを多くの人に伝えることを目指しています。



撮影した写真（鮭川歌舞伎土舞台公演）



撮影した写真（鮭川歌舞伎土舞台公演）



撮影した写真（玉簾の滝）

問合せ先

鮭川村文化団体連合会事務局（中央公民館内）

Tel.0233-55-3051

鮭川民謡会

活動分野 民謡

代表者 会主 荒木 京子 会長 荒木 末治 **会員数** 35名

活動場所 わくわく新庄 第1・第2・第3木曜日 午後6時
東根教室 第1・第3水曜日 午後1時30分

活動日時 行事にあわせて練習

鮭川民謡会は今年で47周年を迎えます。これも、皆様方のご支援ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。平成13年度には、日本民謡協会山形鮭川支部を結成しました。その後、会員の皆様の活躍で、県大会・全国大会等でたくさんの優勝をしております。全国大会では、壮年部優勝に佐藤正幸、高年部7位に矢口茂、前田元子と松田利恵も入賞をしました。今年度も、全国大会で柳谷兵衛が「置賜しょがいな」を披露する予定です。

毎年、老人ホームの慰問活動もさせていただいており、地域の方も楽しみにしております。今後とも伝統を守って後世に伝えていくことが私たちの義務だと思っています。引き続きのご指導ご声援よろしくお願いたします。



問合せ先

鮭川民謡会 会主：荒木 京子 TEL0233-55-2342 ※新規会員も募集中

会長：荒木 末治

事務局：松田 利恵 日本民謡協会鮭川支部事務局：佐藤 優子

KICHIMONKAI

吉門会

活動分野 舞踊

代表者 花柳 吉優次

会員数 3名

活動場所 花柳 吉優次 宅

活動日時 毎週火曜日午後7時

平成27年頃から休会していた「吉門会」は、名取の花柳絵那次がUターンしたことにより、不死鳥のように復活しました。令和5年の鮭川村総合芸術祭には、長唄「千代の寿」、長唄「鶴亀」の二番で参加しました。日本舞踊で鍛えられた私の足腰はすでに衰え、元に戻ることはありませんが、週一回の稽古によって、少しずつ丈夫になっているようです。私より2、3歳年上の会員の方も正座することができなくなっていますが、踊れるように工夫しながら、心に潤いをもたらすように楽しんでいます。



問合せ先

花柳 吉優次 鮭川村大字石名坂56-1

TEL080-8220-6583

段の下田植え踊り保存会

活動分野 伝統芸能

代表者 会長 土田 定幸 **会員数** 11名

活動場所 段の下公民館、鮭川小学校等

活動日時 行事に併せて練習

段の下田植え踊りは、昭和55年に後世に田植え踊りを伝承する目的で結成され、今年で45年を迎えます。昭和63年春に鮭川村無形民俗文化財の指定を受け、村の文化財として地区民で歴史を守ってまいりました。

起源は、約150年前、越後（現在の新潟県）の旅人が伝えた豊作を願う踊りです。初代の故・荒木酉之助氏から地域の女性を中心に、今まで受け継いできました。踊り手が持つ稲穂に見立てた「じゃがら」などの道具は、全て会のメンバーによる手作りです。

平成29年から、鮭川小学校4年生の総合学習の一環として段の下田植え踊りを指導しています。子どもたちは、保存会のメンバーと一緒に地域の歴史や踊りの歌を覚えながら、文化祭や総合芸術祭で発表を行いました。

これからも、この伝統を後世に伝承していくために活動してまいります。



問合せ先

段の下田植え踊り保存会 会長 土田 定幸 TEL0233-55-3645
事務局 荒木 末治 TEL0233-55-2342



段の下田植え踊り
の動画はこちらから

GASYUKAI

雅秀会

活動分野 俳句

代表者 矢口 美穂

会員数 8名

活動場所 鮭川村中央公民館

活動日時 隔月ごとに句会

わが雅秀会の発足は平成8年ですが、その前身は村内に存在した親雅会、秀富会、鮭川句会が一つにまとまり、再出発した俳句愛好者の会です。

当時は会員数が30名を超えており、会長兼選者の小川庭水先生をはじめ故人になられた会員の方々が多くいらっしゃいますが、今まで通りの活動を楽しみながら続けていきたいと思っております。

山里のふところ深し草の花（庭水）



問合せ先

代表 矢口 美穂

TEL0233-55-2026

KOSUMOSUKAI

コスモス会

活動分野 舞踊

代表者 佐藤 良子

会員数 4名

活動場所 鮭川村中央公民館

活動日時 毎週金曜日午後7時（冬期午後2時）

コスモス会は平成元年、黒坂千代子先生によって創設されました。平成21年には21名の会員がいましたが、会員の高齢化により、現在は4名になりました。指導者の千代子先生も高齢で指導できなくなり、平成27年ごろから花柳吉優次先生にお願いし、現在に至っております。

鮭川民謡会舞踊部として併せて活動しており、日本民謡協会民謡民舞大会に出場し、全国大会で入賞したこともあります。近年では、平成29年東北大会準優勝、令和2年山形県大会優勝、令和4年山形県大会優勝し、全国大会の権利を得ましたが、コロナ禍中でもあり出場しませんでした。今は健康のためと思い、細々ながら仲間と楽しく踊っています。



稽古の様子



稽古の様子



総合芸術祭での披露



総合芸術祭での披露

問合せ先

佐藤 良子 鮭川村大字向居110

Tel.0233-55-2455

SAKEGAWANANAHOSHIKAI

鮭川七星会

活動分野 舞踊

代表者 高橋 悦子 **会員数** 4名

活動場所 鮭川村中央公民館

活動日時 火曜日・木曜日

平成元年に設立し、日本舞踊や民舞を中心に活動を行っております。令和5年度は「山形花笠まつりパレード」や、「民謡民舞の祭典 山形県民謡王座決定大会」にも出演しました。今年も山形テルサで開催される「県民謡振興会講師会の春に集う民謡・民舞発表会」に出演いたします。



問合せ先

鮭川村文化団体連合会事務局

鮭川村中央公民館 Tel.0233-55-3051

SEIRYUSAKEGAWADAIGO

清流さけがわ太鼓

活動分野 和太鼓

代表者 代表 八鍬 順一 **会員数** 15名

活動場所 鮭川村中央公民館 2F 視聴覚室

活動日時 毎週水曜日 午後7時～9時

香り高く、新しい文化創造の願いを込め、あわせて鮭川村民の志気を鼓舞し、活気ある村づくりを進めていくため、昭和63年8月「さけがわ太鼓」が創設されました。

村内外の各種イベントでの太鼓演奏、鮭川小学校の「伝統芸能学習」での太鼓指導等、新たな地域おこしへ太鼓の鼓動を響かせようと活動しています。太鼓演奏を通じて、皆様に「笑顔」と「感動」を伝えられるよう日々練習に励んでいます。

みなさんも一緒に太鼓の「鼓動」を体験してみませんか？



問合せ先

清流さけがわ太鼓 代表 八鍬 順一

連絡先 文化団体連合会事務局（鮭川村中央公民館） TEL0233-55-3051

SENKAWARYUKYOKAKAI 千川流京華会

活動分野 舞踊

代表者 千川仲乃蓉 **会員数** 5名

活動場所 公民館もしくは自宅

活動日時 不定期（発表会にあわせて練習）

人数は少数ではありますが、それぞれの目的に合わせて練習しております。写真は令和6年度千川流の新庄公演と、鮭川歌舞伎の公演で出演した時のものです。



問合せ先

千川 仲乃蓉 TEL0233-55-3558

SHINBUYONISHIMOTO

新舞踊にしもと

活動分野 舞踊

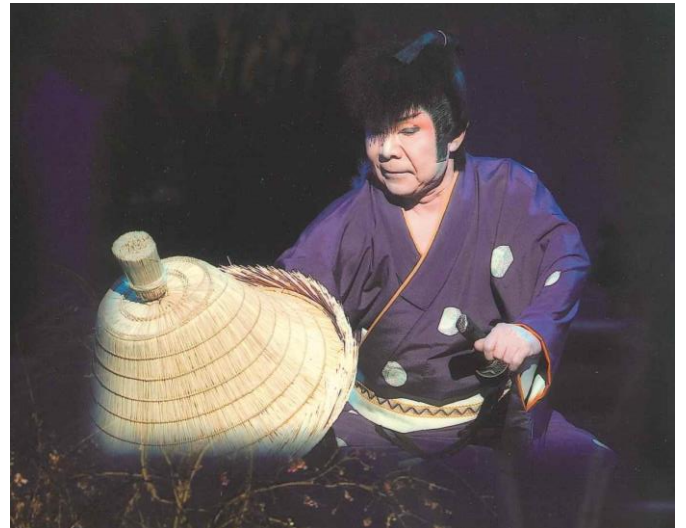
代表者 本木 節夫

会員数 1名

活動場所 中央公民館、自宅

活動日時 不定期

創立は平成19年（2007年）です。秋田湯沢市の先生に指導いただき、岩手県遠野、宮城県石巻で股旅大会にて出演し、県内では村山大会、股旅全国大会で優勝することができました。県内の施設に訪問させていただき、楽しんでもらっています。鮭川歌舞伎では、舞踊三題で出演しております。



問合せ先

本木 節夫 TEL0233-55-3968

HANESAWABUSHIHOZONKAI

羽根沢節保存会

活動分野 伝統芸能

代表者 会長 荒木 末治 **会員数** 20名

活動場所 京塚地区多目的集会所、鮭川村ふるさと文化伝承館等

活動日時 不定期（公演に合わせて練習）

羽根沢節は、「羽根沢温泉」開湯当初から歌い継がれている民謡です。地元の民謡を後世に伝えたいという思いで、平成7年に保存会を設立しました。羽根沢節を録音したカセットテープをつくり、全戸配布をさせていただきました。平成17年度には10周年記念として、盆踊り大会を開催し、好評を得ました。

令和4年度より「羽根沢節全国大会」を開催しており、参加者は120名にのぼり、遠くは愛知県からも参加いただいております。

小学校の総合的な学習の一環で、羽根沢節の唄と踊りを教えています。



問合せ先

羽根沢節保存会 会長 荒木 末治 Tel0233-55-2342

踊り指導者：花柳 吉優次 唄指導者：荒木 京子

ANONENONE

あのねのね

活動分野 読み聞かせボランティアサークル

代表者 吉村 厚子 **会員数** 11名

活動場所 鮭川村立鮭川小学校・鮭川中学校、保健センター等

活動日時 小・中学校（8時20分～8時30分）

保健センター（10時20分～10時40分）

平成14年5月に開設した「読み聞かせボランティアサークルあのねのね」は、今年23年目になります。当時は、今田たかさん（故人）と二人きりでしたが、今では11名になりました。統合前の大豊小学校へ毎月1回訪問し、中間休み時間に図書室で読み聞かせをしていたことを懐かしく思います。

現在では、鮭川小学校・鮭川中学校の朝の読書時間に各教室で年4回、保健センターでの離乳食教室で年6回、その他「老人クラブのサロン」のご依頼にも応じています。

鮭川村教育委員会で発行している「鮭川の民話と伝説」絵本製作に、文の校正で協力しており、これまで出来上がった作品は「八つ目刀で切られた小太郎爺」「山の兄とビッキの話」「さとうヨーカン」そして、「貧乏の神」です。村在住の絵本作家であるラーワーちひろさんの絵はとても好評です。

平成30年 最上地区自作視聴覚教材コンクール最優秀賞受賞

平成30年 第66回山形県自作視聴覚コンクール社会教育部門入選

令和4年 最上地区生涯教育功労者賞受賞

その他、鮭川村総合芸術祭に参加、最上地区読み聞かせサークル連絡協議会加入



離乳食教室での読み聞かせ



鮭川小学校での読み聞かせ

問合せ先

吉村 厚子 鮭川村大字石名坂56-1

Tel.080-8220-6583

鮭川歌舞伎保存会

鮭川美術

写友会

鮭川民謡会

吉門会

段の下田植え踊り保存会

雅秀会

コスモス会

鮭川七星会

清流さけがわ太鼓

千川流京華会

新舞踊にしもと

羽根沢節保存会

あのねのね

発行日／令和七年三月十日
発行者・編集／鮭川村文化団体連合会
表紙・裏表紙デザイン／いなばせいら（鮭川美術）